

3 公大協第 7 8 号
令和 3 年 8 月 18 日

公立大学長 各位
公立大学副学長 各位
(副学長相当職を含む)

一般社団法人公立大学協会
会長 松尾太加志 (北九州市立大学長)

令和 3 年度 副学長等協議会について (開催案内)

本協会の活動につきまして、平素よりご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて本協会では、平成 26 年の学校教育法の改正に伴い、「学長を助け、命を受けて公務をつかさどる」職務を担う副学長を主な対象として、様々な課題を総合的に議論する「副学長等協議会」を開催し、各大学における課題解決に向けた情報提供をしております。

今年度は、下記のとおり、「全体会」において新型コロナウイルス対策やワクチン接種において公立大学が地域に果たした役割や、地域連携機能の強化をテーマに協議を行います。

その後「教育改革分科会」「研究促進分科会」を並行開催いたします。「教育改革分科会」では「教学マネジメント指針」をテーマに文部科学省からの政策説明の後、桜美林大学大学院国際学術研究科 小林雅之教授 (中央教育審議会大学分科会 教学マネジメント特別委員会副座長) からご講演をいただきます。「研究促進分科会」では「地方大学研究振興タスクフォース」に関する文部科学省からの政策説明の後に、事例報告として東京都立産業技術大学院大学産業技術研究科長 橋本洋志教授からご講演をいただきます。

参加のご希望がございましたら、別添の参加申込票にて 9 月 3 日 (金) までにお申込みくださいようお願い申し上げます。また、ご参加者様におかれましては、各大学における課題やご意見等を分科会の協議の参考とさせていただきたく、事前照会票もご記入のうえご回答いただけますと幸いです。

なお、事前照会票にご回答いただきました内容につきましては、参加者間で共有いたしますのでご了承いただきますようお願いいたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

記

日時：令和 3 年 9 月 16 日 (木) 14:30～17:00

形式：オンライン (Zoom)

申込み方法：別添参加申込票を 9 月 3 日 (金) までにメールにて chosa@kodaikyo.org に
お送りください。

また、ご参加者様におかれましては、各大学における課題やご意見等を分科会の協議の参考とさせていただきたく、事前照会票もご記入のうえご回答いただけますと幸いです。

副学長等協議会 全体会・分科会スケジュール：

時間	会議名、主旨等	
14:30～ 15:20	<p>■全体会 テーマ「新型コロナウイルス対策やワクチン接種において公立大学が地域に果たした役割や、自治体や地域との連携体制の強化、今後の展開について」 ※ Zoom の URL は参加者とりまとめ後にお知らせいたします。 ※ 開催概要は別紙1-1をご参照願います。</p>	
15:20～ 15:30	休憩	
15:30～ 17:00	<p>■教育改革分科会 テーマ「学修者本位の教育の実現と教学マネジメント改革について」 ※ Zoom の URL は参加者とりまとめ後にお知らせいたします。 ※ 開催概要は別紙1-2をご参照願います。</p>	<p>■研究促進分科会 テーマ「公立大学の研究力向上と地方大学研究振興タスクフォースについて」 ※ Zoom の URL は参加者とりまとめ後にお知らせいたします。 ※ 開催概要は別紙1-3をご参照願います。</p>

以上

(事務取扱)

〒100-0013

千代田区霞が関 3-8-1 虎の門三井ビル B106

公立大学協会事務局 (担当：川島)

TEL：03-3501-3336 FAX：03-3501-3337

E-MAIL：chosa@kodaikyo.org

令和3年度 副学長等協議会「全体会」

趣旨：

副学長等協議会「全体会」では、新型コロナウイルス対策やワクチン接種において公立大学が地域に果たす役割や、経済的な困窮状態が継続している学生への対応等の事例に基づき、自治体や地域との連携のあり方に焦点を当てて意見交換を行います。小規模な単位での地域を視野に入れ、公立大学が地域とともに課題を解決していくための方策、公立大学と自治体との関係性の変化、地域への新たなアプローチ方法について協議いたします。

日 時：令和3年9月16日（木） 14：30～15：20

対 象：副学長をはじめとするマネジメント層教職員等

テーマ：新型コロナウイルス対策やワクチン接種において公立大学が地域に果たした役割や、自治体や地域との連携体制の強化、今後の展開について

次第

1 挨拶・趣旨説明

一般社団法人公立大学協会 松尾 太加志 会長（北九州市立大学長）

2 全体協議

別途実施いたします「コロナ禍における公立大学の役割と課題に関するアンケート」の回答内容を参考に、ご参加の副学長等役職者1～2名から取り組みの好事例や現在抱える問題点をご説明いただき、議論を深めます。

令和3年度 副学長等協議会「教育改革分科会」

趣旨：

令和2年1月22日の第152回中央教育審議会大学分科会教学マネジメント特別委員会において、「教学マネジメント指針」が取りまとめられました。指針の冒頭に『教学マネジメントは「大学がその教育目的を達成するために行う管理運営」と定義でき、(中略)自らの責任で自大学の諸活動について点検・評価を行い、その結果をもとに改革・改善に努め、これによって、その質を自ら保証するという各大学における内部質保証体制の確立が必要である。』と記載があります。大学がこれらを受け止めながら全学的に改革を進めていくためには、学長あるいは副学長がリーダーシップを発揮し、各教職員が十分に大学教育の目的と各自の役割を把握する必要があります。

分科会では、文部科学省から政策責任者を招き、教学マネジメントに関する情報提供をいただいた後に、桜美林大学大学院 小林雅之教授(文部科学省 中央教育審議会大学分科会 教学マネジメント特別委員会副座長)からご講演をいただきます。その後、事前照会で回答いただきました各大学が抱える課題、教育改革の進め方について意見交換を行い議論を深めます。

日 時：令和3年9月16日(木) 15:30～17:00(全体会終了後)

対 象：教育担当の副学長をはじめとするマネジメント層教職員等

テーマ：学修者本位の教育の実現と教学マネジメント改革について

次第(内容、講演者等は変更となる場合があります)：

1 趣旨説明

2 行政説明

「教学マネジメント指針について」(仮称)

説明：文部科学省 大学振興課 大学改革推進室 早川 慶 室長補佐

3 講演

「教学マネジメント指針の実質化と質保証」

講師：桜美林大学大学院 国際学術研究科 小林 雅之 教授(日本高等教育学会会長)

(文部科学省 中央教育審議会大学分科会 教学マネジメント特別委員会副座長)

4 全体協議

参加申込み時に行う事前照会の回答に基づき、各大学からいただいた課題に対して意見交換を行います。

令和3年度 副学長等協議会「研究促進分科会」

趣旨：

設置者からの財政措置は年々厳しくなる中、外部資金獲得の重要性は高まっており、各公立大学における研究力の向上と研究支援体制の強化は重要な課題となっております。

分科会では、文部科学省から政策責任者を招き、研究促進に関する最新の施策や取組等に関する情報提供をいただきます。その後、東京都立産業技術大学院大学産業技術研究科長 橋本洋志教授から事例報告のご講演をいただいた後に、公立大学の研究促進に関する意見交換を行います。社会に対し公立大学の研究力をアピールするための方策、外部資金等を獲得するための支援体制強化について協議いたします。

日 時：令和3年9月16日（木） 15：30～17：00（全体会終了後）

対 象：研究担当の副学長をはじめとするマネジメント層教職員等

テーマ：公立大学の研究力向上と地方大学研究振興タスクフォースについて

次第（内容、講演者等は変更となる場合があります）：

1 趣旨説明

2 行政説明

「地方大学研究振興タスクフォースについて」（仮称）

説明：文部科学省 科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課

3 事例報告

「産業技術系公立大学における研究の社会還元について」

講師：東京都立産業技術大学院大学産業技術研究科長 橋本 洋志 教授

高度な専門職業人を養成する大学院大学において、研究と教育、地域貢献をどのように結びつけるのか、研究活動を重視する理由、単科大学ならではの研究活動の現状と課題についてご講演いただきます。

4 全体協議

参加申込み時に行う事前照会の回答に基づき、各大学からいただいた課題に対して意見交換を行います。